

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和 7 年 3 月 28 日

事業所名 第2乳幼児親子教室 保護者等数(児童数) 46名 回収数 24名 割合 52%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	2	1	1	人数が多い時には狭く感じる	運動遊びなどでは2階を利用してボルダリングを経験したり、近くの公園を利用しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	21	2	1	0	人数が少なく感じる 目が行き届かないのではと思う日がある	状況に応じて人数や配置を考えて対応していきます。
	③	3.生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境(i)になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	23	0	0	1		年齢によっておもちゃの入れ替えをしています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21	3	0	0	床がカーペットなので掃除が難しそう。冬場は少し寒いと感じることが多い	休みが続く時はフロアシナー液などでの掃除をしています。部屋の温度管理もしっかりしていきます。
適切な支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(ii)が作成されているか	22	2	0	0		アセスメントをもとに行っています。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23	0	0	1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	23	1	0	0		
	⑧	活動プログラム(iii)が固定化しないよう工夫されているか	22	2	0	0		プログラムは話し合いながら月案を立てています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	4	2	8	まだ未就園児なので分かりませんが、交流は行っているようです。	親子クラスは年齢も小さいので地域の公園での触れ合いが中心となっています。
保護者への 説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	2	0	1		明細などの見方などわかりやすく説明しています。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	24	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(iv)等)が行われているか	17	2	3	2	機会があれば、このようなプログラムの勉強会があれば嬉しいです。 週1度の通所なので、あまりこちらからお伝えできない、教室からのフィードバックが少なく感じる時がありました。	グループワークなどは何回か行ってきました。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22	2	0	0		短い時間でも一週間での様子など聞き取れるようにしていきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	0	0	0		こまめに相談に乗って頂いて、とても助かっています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	21	0	0	3		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22	0	0	2		困った時はすぐに対応してくださっています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	0	0	1		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	22	1	0	1		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	⑱	個人情報の取扱いに十分注意されているか	22	1	0	1		集団療育なので気を付けていきます。
非常時等の 対応	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	16	2	0	6		マニュアルなど掲示していますが、しっかり周知できるようにします。
	⑺	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	0	0	9		分離クラスは災害時の引き取り訓練垂直避難を経験しました。
満足 度	⑳	子どもは通所を楽しみにしているか	22	1	0	1	毎回楽しみに通っていて、先生が大好きです。	
	㉑	事業所の支援に満足しているか	24	0	0	0	先生方がとても温かいです。	

(i)「本人にわかりやすく構造化された環境」はこの部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

(ii)「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の計画状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは児童発達支援センターまたは児童発達支援事業

(iii)「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的をもって行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されています。

(iv)「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。